

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日
東

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 繁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,732	43.9	2,527	167.8	2,604	141.4	1,602	144.8
26年3月期第3四半期	8,153	28.7	943	183.5	1,078	249.2	654	349.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,980百万円(85.7%) 26年3月期第3四半期 1,066百万円(279.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	114.33	—
26年3月期第3四半期	46.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	19,765	9,440	47.5
26年3月期	17,080	8,189	47.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 9,391百万円 26年3月期 8,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	27.00	47.00
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	22.4	3,200	51.3	3,200	41.1	1,800	34.7	128.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	14,200,000株	26年3月期	14,200,000株
27年3月期3Q	184,574株	26年3月期	184,556株
27年3月期3Q	14,015,443株	26年3月期3Q	14,015,444株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主力取引先である中国及び東南アジアの自動車及びタイヤメーカーを中心とした設備投資が、前連結会計年度に引き続き堅調に推移いたしました。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した研究開発分野への集中が依然として続いております。

このような環境のもと、当社グループは、前連結会計年度に引き続き堅調に推移している中国・東南アジアの自動車・タイヤ関連メーカーの設備投資情報を的確に入手し、現地での積極的な営業活動を展開して受注実績に結び付けてまいりました。また、前連結会計年度に竣工した本社第三工場において研究開発用の電気サーボモータ式振動試験機の内覧会を実施し、当該試験機の営業にも注力いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーから、生産ライン向けタイヤ関連試験機を中心に138億7千9百万円（前年同四半期比0.2%減）の受注を獲得いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、117億3千2百万円（前年同四半期比43.9%増）、営業利益は25億2千7百万円（前年同四半期比167.8%増）、経常利益は26億4百万円（前年同四半期比141.4%増）、四半期純利益は16億2百万円（前年同四半期比144.8%増）となりました。

売上高につきましては、中国の中堅タイヤメーカーへの生産ライン用タイヤ関連試験機の出荷が堅調に推移したことや、当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が円安ドル高に推移したため、前年同四半期と比較して大幅に増加しております。

利益面につきましては、タイヤ関連試験機の原価率が改善し売上総利益率が上昇したことや為替差益の発生により、デリバティブ評価損や輸出増による運賃などの増加を吸収したため、前年同四半期と比較して大幅に増加しております。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国をはじめとするアジアの中堅タイヤメーカー向け生産ライン用タイヤ関連試験機の出荷が、順調に推移いたしました。その結果、売上高は同タイヤ関連試験機を中心として98億3千8百万円（前年同四半期比58.0%増）、セグメント利益（経常利益）は27億8千7百万円（前年同四半期比132.8%増）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

前連結会計年度に本社の移転を完了し、新工場での本格的な稼働を開始いたしました。当第3四半期連結累計期間は、主力製品である金属材料の高温強度試験装置を中心に受注しておりますが、海外向けの大型案件の出荷は第4四半期以降を予定しております。その結果、売上高は2億3千8百万円（前年同四半期比55.6%減）、セグメント損失（経常損失）は1億5千3百万円（前年同四半期は4千8百万円の損失）となりました。

〔米国〕

現地自動車及びタイヤ関連メーカーを中心としてバランスンギンマシンの受注が好調に推移したものの、大型案件等の出荷については第4四半期を予定しております。その結果、売上高は7億6千1百万円（前年同四半期比7.6%減）、セグメント損失（経常損失）は3百万円（前年同四半期は6百万円の利益）となりました。

〔韓国〕

当第3四半期連結累計期間においては、自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注が軟調に推移したものの、当社グループからの製造委託が大幅に増加いたしました。その結果、売上高は20億4千9百万円（前年同四半期比84.7%増）、セグメント利益（経常利益）は3億1千2百万円（前年同四半期比60.3%増）となりました。

〔中国〕

中堅タイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機の受注は堅調に推移しております。その結果、売上高は6億3千9百万円（前年同四半期比5.1%増）、セグメント利益（経常利益）は1千6百万円（前年同四半期は2千9百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、143億9千3百万円（前連結会計年度末比26億8百万円増）となりました。これは、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比10億8千3百万円減）したものの、売上債権の回収や前受金の増加により現金及び預金が増加（前連結会計年度末比19億8千2百万円増）したことや受注残高の増加に伴い仕掛品が増加（前連結会計年度末比16億1千7百万円増）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、53億7千1百万円（前連結会計年度末比7千5百万円増）となりました。これは、株価の上昇により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比5千7百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、84億9千5百万円（前連結会計年度末比18億6千3百万円増）となりました。これは、仕入が増加したため支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比9億8千5百万円増）したことや短期借入金が増加（前連結会計年度末比6億1千万円増）したこと、並びに受注残高の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比4億3千1百万円増）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、18億2千9百万円（前連結会計年度末比4億3千0百万円減）となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金に振替えたことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比4億8千7百万円増）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、94億4千0百万円（前連結会計年度末比12億5千0百万円増）となりました。これは、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比8億7千3百万円増）したことや円安ウォン高等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比3億2千7百万円増）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正、配当予想の修正並びに営業外収益及び営業外費用の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,234,239	6,216,653
受取手形及び売掛金	4,007,776	2,924,262
商品及び製品	289,902	253,151
仕掛品	2,070,209	3,687,976
原材料及び貯蔵品	531,791	584,991
繰延税金資産	288,770	261,529
その他	369,481	470,628
貸倒引当金	△7,223	△5,295
流動資産合計	11,784,948	14,393,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,417,269	2,504,742
機械装置及び運搬具	213,479	234,376
土地	1,316,645	1,322,245
リース資産	3,036	3,036
建設仮勘定	3,980	—
その他	160,037	180,425
減価償却累計額	△1,092,068	△1,200,474
有形固定資産合計	3,022,379	3,044,351
無形固定資産		
リース資産	1,993	1,594
その他	64,687	63,999
無形固定資産合計	66,680	65,594
投資その他の資産		
投資有価証券	152,402	210,028
長期貸付金	30,282	24,977
繰延税金資産	23,727	26,494
保険積立金	1,812,673	1,831,716
その他	301,111	309,367
貸倒引当金	△113,570	△141,067
投資その他の資産合計	2,206,626	2,261,515
固定資産合計	5,295,686	5,371,461
資産合計	17,080,635	19,765,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,538,053	3,523,684
短期借入金	290,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	744,468	665,868
リース債務	1,195	1,195
未払法人税等	834,504	508,080
繰延税金負債	—	3,156
賞与引当金	142,630	65,054
製品保証引当金	188,400	222,773
前受金	1,453,797	1,885,155
その他	438,823	720,726
流動負債合計	6,631,873	8,495,695
固定負債		
長期借入金	1,746,408	1,258,697
リース債務	3,288	2,391
繰延税金負債	112,904	151,030
役員退職慰労引当金	152,623	160,103
退職給付に係る負債	233,222	245,991
資産除去債務	10,768	10,936
固定負債合計	2,259,214	1,829,150
負債合計	8,891,088	10,324,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	6,294,092	7,167,646
自己株式	△150,957	△150,994
株主資本合計	8,102,635	8,976,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,734	93,932
為替換算調整勘定	△6,291	321,318
その他の包括利益累計額合計	41,442	415,251
少数株主持分	45,468	49,110
純資産合計	8,189,546	9,440,513
負債純資産合計	17,080,635	19,765,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,153,572	11,732,109
売上原価	4,936,429	6,793,710
売上総利益	3,217,143	4,938,398
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	179,292	251,030
貸倒引当金繰入額	10,891	22,538
役員報酬	125,505	144,990
給料手当及び賞与	525,673	544,882
賞与引当金繰入額	34,187	25,194
退職給付費用	28,444	20,395
役員退職慰労引当金繰入額	7,200	7,480
運賃	257,985	390,949
減価償却費	28,256	32,328
研究開発費	11,979	4,958
その他	1,063,782	966,053
販売費及び一般管理費合計	2,273,198	2,410,801
営業利益	943,944	2,527,597
営業外収益		
受取利息及び配当金	32,028	38,107
為替差益	132,513	384,625
その他	41,261	13,946
営業外収益合計	205,803	436,679
営業外費用		
支払利息	21,698	17,405
持分法による投資損失	5,244	13,540
売上債権売却損	7,321	13,705
支払手数料	6,477	19,242
デリバティブ評価損	17,421	292,393
保険解約損	8,605	2,949
その他	4,046	258
営業外費用合計	70,814	359,495
経常利益	1,078,933	2,604,781
特別利益		
固定資産売却益	30,169	609
特別利益合計	30,169	609
特別損失		
固定資産除却損	1,208	606
特別損失合計	1,208	606
税金等調整前四半期純利益	1,107,894	2,604,784
法人税、住民税及び事業税	500,472	959,402
法人税等調整額	△52,612	41,905
法人税等合計	447,859	1,001,308
少数株主損益調整前四半期純利益	660,034	1,603,476
少数株主利益	5,498	1,119
四半期純利益	654,536	1,602,356

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	660,034	1,603,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	720	46,198
為替換算調整勘定	403,127	330,791
持分法適用会社に対する持分相当額	2,273	△363
その他の包括利益合計	406,121	376,626
四半期包括利益	1,066,156	1,980,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,057,014	1,976,460
少数株主に係る四半期包括利益	9,142	3,642

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	5,681,979	536,539	824,757	490,644	441,424	7,975,345	178,226	8,153,572
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	545,545	—	—	618,785	167,205	1,331,536	32,241	1,363,778
計	6,227,525	536,539	824,757	1,109,429	608,630	9,306,882	210,467	9,517,350
セグメント利益 又は損失(△)	1,197,372	△48,113	6,923	194,892	△29,612	1,321,462	17,409	1,338,872

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,321,462
「その他」の区分の利益	17,409
セグメント間取引消去等(注)	△259,938
四半期連結損益計算書の経常利益	1,078,933

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が286,905千円含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	9,387,790	238,286	754,470	845,125	422,062	11,647,735	84,374	11,732,109
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	450,837	—	7,447	1,204,199	217,512	1,879,997	32,125	1,912,122
計	9,838,627	238,286	761,917	2,049,325	639,575	13,527,732	116,499	13,644,232
セグメント利益 又は損失(△)	2,787,403	△153,208	△3,299	312,349	16,816	2,960,061	6,566	2,966,628

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,960,061
「その他」の区分の利益	6,566
セグメント間取引消去等(注)	△361,847
四半期連結損益計算書の経常利益	2,604,781

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が339,728千円含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスingマシン	9,123,108	+61.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	927,326	+7.9	日本(国際)
材料試験機	238,286	△55.6	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	728,900	+26.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	728,638	+40.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	11,746,258	+44.1	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスingマシン	10,317,686	+1.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,578,369	+32.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	620,951	△40.2	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	610,345	△21.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	751,648	+2.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	13,879,000	△0.2	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第3四半期連結累計期間末(平成26年12月31日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バラシグマシ	11,371,056	+28.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,749,943	+1.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	804,379	+0.6	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	559,328	△31.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	91,574	△62.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	14,576,282	+17.2	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バラシグマシ	9,108,959	+60.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	927,326	+7.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	238,286	△55.6	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	728,896	+26.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	728,640	+40.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	11,732,109	+43.9	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。